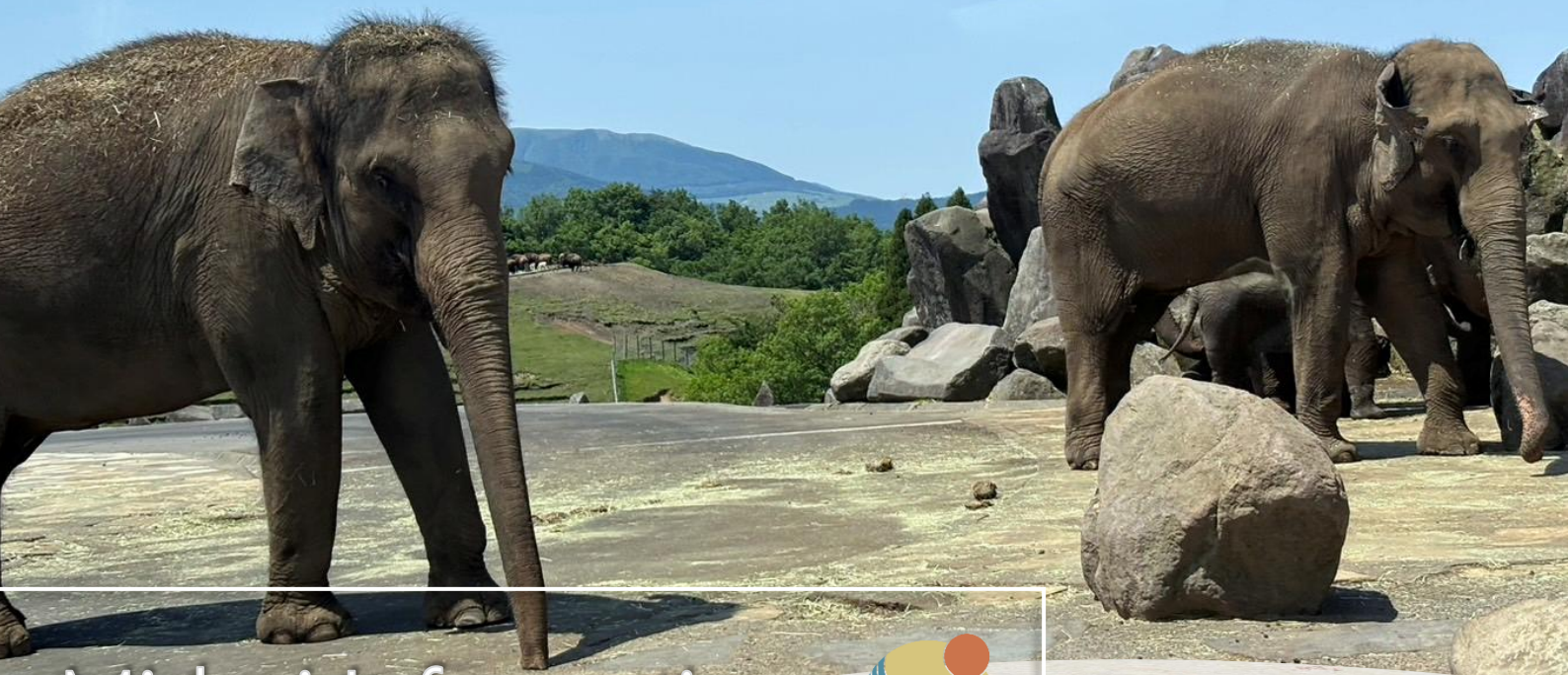




Midori Information



「みどり通信」は、熊本県農村振興局や市区町村、水土里ネットなどの職員の皆さんに、農業・農村に関する様々な情報をお届けするものです。

Information

□ 巻頭言

熊本県 農林水産部

農村振興局 局長 永田 稔

Topics

水土里ネット熊本からの情報

□ 竹崎一成会長のラジオ出演

□ 農地用ため池における

緊急放流装置の活用について

熊本県からの情報

□ 農村振興局 2025 スローガンについて

農林水産省からの情報

□ 地域計画のアンケートのお知らせ

□ 農村プロデューサー養成講座

についてのご案内

Magazine

□ 「進藤金日子メールマガジン」VOL.95

□ 「宮崎雅夫メールマガジン」VOL.73

Since 2013~

「くまもと新時代を切り拓く“食のみやこ熊本県”の創造」



熊本県農林水産部
農村振興局長
永田 稔

土

地改良区並びに土地改良事業団体連合会の皆様におかれましては、益々ご健勝でお過ごしのことと幸いです。また、日頃から本県農業農村整備事業の推進や農村振興にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

令

和7年度がスタートして早くも2カ月が過ぎようとしています。本年度の農業農村整備事業の補助事業関係は、過去10年間で最大級の割当を国から頂いております。これも関係者皆様方の声が国に届いた結果だと思います。改めまして、関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。今後は、この予算を余すことなく、しっかりと執行していくことが重要です。工事関係などご相談申し上げることが多いと

思います。円滑な予算執行にどうぞご協力のほどよろしくお願い致します。

さて、県農村振興局においては、組織として効果的な業務執行ができるよう

ス

ローガンを毎年度初めに策定して業務に取り組んでおります。今年度のスローガンは、「くまもと新時代を切り拓く“食のみやこ熊本県”の創造」として、

- ① 強固な生産基盤の整備と保全管理
- ② 農村地域の防災減災・国土強靱化
- ③ 持続可能な農村づくり
- ④ 農業DXの推進
- ⑤ 農業と工業との共存

を柱として取り組むこととしています。特に、①の保全管理においては、4月1日施行されました改正土地改良法の目玉である、連携管理保全計画、いわゆる「水土里ビジョン」の策定に皆様とともに取り組んで参ります。「将来の我が地域をどうするか」、について地域計画と連動して考える必要があります。どうぞよろしくお願い致します。

突

また、最近特に土地改良施設の発事故（故障）が多発しております。老朽化が進行している中、皆様の日々の点検が非常に重要です。

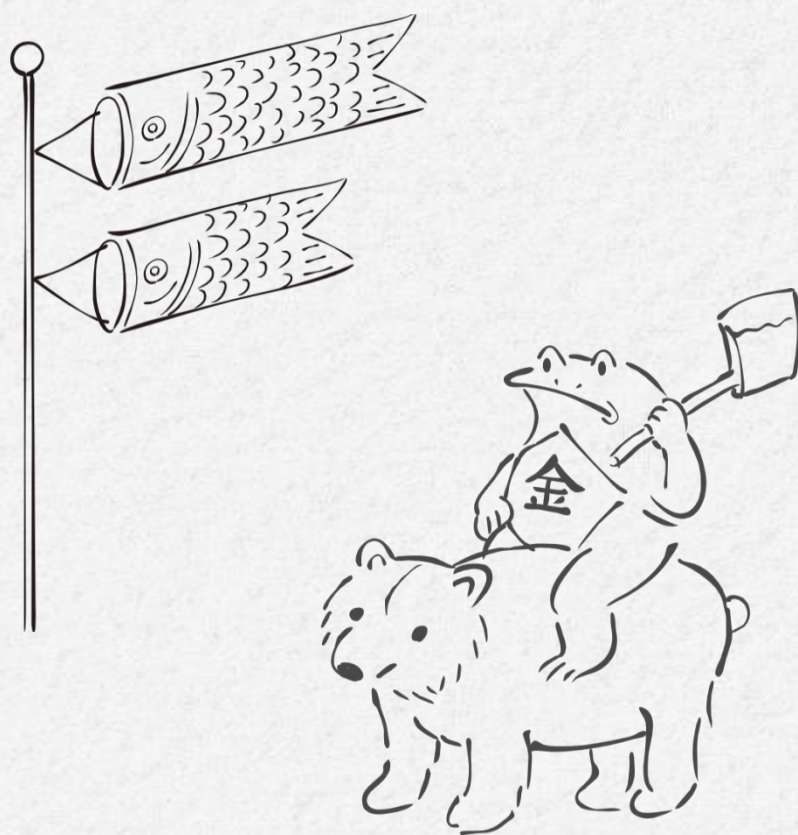
す。用水、排水とも非常に重要な時期を迎えます。適宜適切な点検・確認につきまして、今一度、どうぞよろしくお願い致します。

宮

結びに、県としましては、これらの各種施策を実施するためには、土地改良の効果をしつかり発信することが重要と考えております。改めまして、今年度の予算割当が最大級となったのは、これらの活動に加えて、熊本県職OBである

崎先輩、進藤先輩の存在なくしては、叶わなかったと考えます。しかし、まだまだ皆様の要望額には足りていません。今後につきましても、昨年度に引き続き関係者の皆様のご協力のもと、各方面に土地改良の効果を発信して参ります。将来のくまもと農業をしつかりと支えるうえで、非常に重要な年となりま

す。引続きどうぞよろしくお願い致します。
皆様のご健勝とご活躍を祈念し、令和7
年度初めのご挨拶とさせていただきます。
今年度一年間何卒よろしくお願い致します。
この暑い夏を乗り切りましょう!!



竹崎会長ラジオ出演



FMK開局40周年記念番組
「あなたに聞きたい」第16回

芦北町長 熊本県町村会長
水土里ネット熊本会長

竹崎 一成

KAZUNARI TAKEZAKI

地方の声を、次世代へ

令

和7年4月20日(日)

放送のFMKラジオ番組

「あなたに聞きたい」第16回

に本会会長であり、芦北町長、熊本県町村会会長を務める竹崎一成様が出演されました。

番組では、28歳で政治の道に進んだ原点や、県議選での落選を経て再起を果たした経験、さらに町長、町村会会長としての地域課題への取り組みについて、率直な思いを語られました。

「地方の声を、次世代へ」そんな想いが込められた貴重な対談記録です。

地方の願い、 半世紀の空回り

28歳で政治の道に入った竹崎町長は、半世紀にわたる「地方創生」を振り返り、「道や住環境は良くなったが、格差や過疎は広がる一方」と語る。熊本県町村会の会長として「地方の声を県や国に届けるのが大事。けれど今は、それぞれの自治体抱える課題にも向き合わなければならぬ時代」と話した。

地方が沈むとき、 国もまた沈む

竹崎町長は「働く場がない、だから若者が出ていく」と語り、町のアンケートでもその声が多いと紹介。インフラは良くなっても人は戻らず、こうした傾向が続けば格差は広がる一方だと指摘。「これは少子化にも直結する問題で、地方だけでなく国全体が地盤沈下しかねない」と危機感を示した。

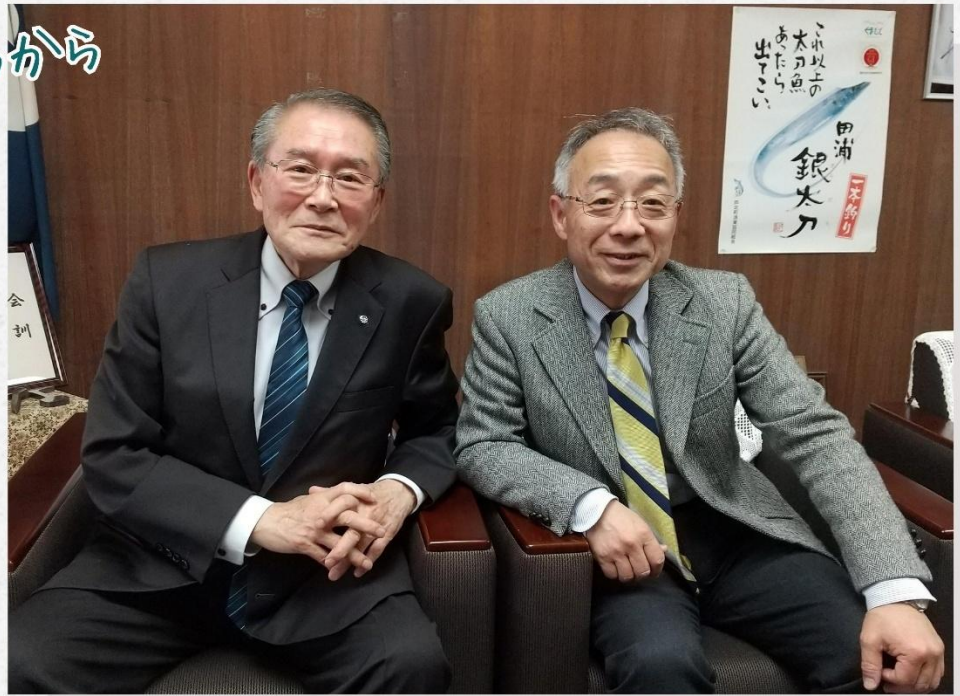
消える町ではなく、 訪れたくなる町に

「消滅自治体」の議論に対し、竹崎町長は「少子化は国の責任。地方の努力不足のように言われるのは違う」と強調。「穴の開いたバケツで水を奪い合ってる」と現状を問題視し、芦北町では交流人口を増やす取り組みに力を入れているという。「昼は賑やか、夜は静かに眠れる町」を目指す姿勢を語った。

ラジオ音声はこちらから

<https://blog.fmk.fm/blog/2025/04/2025420.html>

FMkポッドキャスト



挫折と再起、 そして芦北への誇り

竹崎町長は、祖父や父の政治の跡を継ぎ28歳で町議に。「地元を誇れる町にしたい」との思いと、家族の後押しで政治の道へ進んだ。県議選での落選やどん底も経験しながら、無一文で再起をかけた選挙で圧倒的得票。「このときが人生のターニングポイントだった」と振り返った。

気持ちを同じくして、 共に声を上げる

町村会長として竹崎町長は「各郡を回り、まちの声を直接聞いた」と語り、今後はどんな状況の町村も気持ちを同じくして共に行動し、訴えていく方針を示した。「今は地域格差が顕著に表れている難局。だからこそ次の世代に『こんな地方に誰がした』と言わせんために、今を守り抜く」と力強く語った。

心と体に響く、 生き方の音色

竹崎町長は「本籍は柔道、現住所は空手」と語る武闘派。ジョギングや水泳で健康を保ちつつ、音楽にも造詣が深く「本籍はマンドリン、現住所はギターやフルート」と語る。射撃歴は58年で指導員資格も持つ。自身が立ち上げたマンドリンクラブでは、未経験者が音楽に挑戦し、福祉施設などで演奏する活動も展開している。



水士里ネットからの情報



「想定外」をなくすため
梅雨前の安全対策に！

農業用ため池における緊急放流装置の活用について

熊本県土地改良事業団体連合会（ため池サポートセンター）

梅雨の集中豪雨などの際にため池が決壊すれば、下流に甚大な被害を及ぼします。ため池の決壊防止や被害の軽減を図るためには、速やかに貯留水を放流し、水位を低下させることが極めて重要です。

しかし、緊急的に放流しようにも立樋・斜樋及び底樋などが壊れたり、動力ポンプを搬入するにも隣接する車道が無いなど、対応困難な池も想定されます。

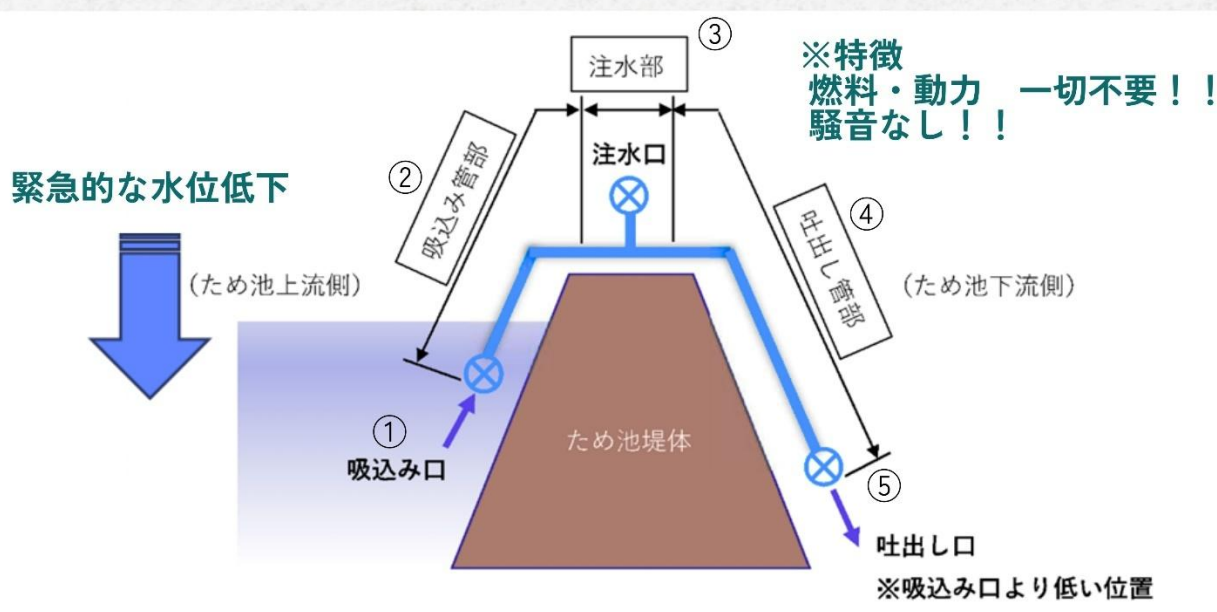
そこで、水土里ネット熊本は、人力で運搬・組立・設置ができ、対応困難な池での緊急的な水位低下を可能とするサイホン式の緊急放流装置（2セット）を導入しました。（ため池サポートセンター内に保管）

特 徴

- 進入路のないため池でも人力で運搬、組立、設置が可能。
（1部材の重量は20KG以下）
- 稼働に燃料や電力が不要で維持費や手間がかからない。
（サイホンの原理で自然流下）

装置の原理

下図はため池の堤体断面とそれをまたぐように設置した装置を示す。
装置の両端にある、吸込み口と吐出し口の水位差を利用したサイホンの原理により、動力を用いることなくため池の貯留水を放流し、水位を低下させる仕組み。



装置写真

(2セット)



操作手順

1. 堤頂部に③注水口ユニット、上流側（ため池の水面より下）に②吸込管及び①浮遊式吸水口ユニット、下流側（放流水路）に④吐出管及び⑤吐出口ユニットをセットし、吐出し口のバルブを閉める。
2. ⑤吐出口ユニットのバルブを閉め、バケツリレー等で③注水口ユニットからホース内を満水にする。
3. ⑤吐出口ユニットのバルブを開けると放流開始。

設置状況

資材搬入（人力）



注水口ユニット設置



浮遊式吸水ユニット設置



資材搬入（人力）



注水口より注水



吐出バルブ開放により放流開始



確認

ため池サポートセンターによる試運転の結果、**毎分200L程度**の排水が確認され緊急時におけるため池内の**水位低下に有効**であることが確認されました。

(※ため池の水位など、条件等により排水量は変動します)



(参考) 毎分200L吐出量のイメージについては、下記のとおり

- ・ 1時間の吐出量 $V = 12,000\text{L}$ (12m^3)
 - ・ 1日間の吐出量 $V = 288,000\text{L}$ (288m^3) : 25Mプールの容量約半分
- 標準的な 25 mプールの容量 ($L=25\text{m}$ 、 $W=16\text{m}$ 、 $H=1.5\text{m}$ で $V=600\text{m}^3$)

放流装置の貸出

本会（ため池サポートセンター）は、ため池管理者（主に市町村、土地改良区を想定）に対し、**地震・豪雨による緊急時の水位低下を目的とした当該装置の貸出し**についての規定を設けるとともに、各種研修会並びにため池協議会等の機会を活用し**積極的な普及啓発**を図っております。

効果

これらの取組みについては、**災害の未然防止と、管理者の防災意識の向上と地域の安全に大きく寄与するものです。**

問い合わせ先

熊本県土地改良事業団体連合会
保全管理総合センター 保全推進課 川重、徳永
TEL 096-348-8807 FAX096-348-8017

令和7年度熊本県農村振興局スローガン

令和7年4月改訂

くまもと新時代を切り拓く「食のみやこ熊本県」の創造**～「農業農村整備」の着実な推進と「農村」の活性化～****農村地域の防災減災、国土強靱化**

- ・排水機場、ため池等の農業水利施設の計画的な更新
- ・県有施設等の管理体制強化
- ・大規模災害からの復旧及び創造的復興の推進
- ・田んぼダムの県内全域への普及・拡大

芦北排水機場

**強固な生産基盤の整備と保安全管理**

- ・食料安全保障を担う農地の基盤整備（区画拡大、用排分離、水田の汎用化）
- ・管理の省力化に対応した施設等の整備、保全
- ・農地集積の加速、スマート農業の推進
- ・土地改良区の体制強化、水土里ビジョンの策定推進

原峰・大野干地区

**持続可能な農村づくり**

- ・農的関係人口の創出拡大に繋がる取り組みへの支援
- ・農村RMOの形成促進
- ・日本型直接支払制度による地域社会の維持
- ・鳥獣被害対策の推進

田植イベント

**農業DXの推進**

- ・くまもと水土里GISの活用により各農業分野の情報を一元化
- ・オンライン化による各団体間の情報共有
- ・3次元データを活用した設計施工管理
- ・遠隔臨場による効率的な施工管理

くまもと水土里 GIS データ (イメージ図)

**農業と工業の共存**

- ・くまもと水土里GISによる農地情報の状況把握(見える化)
- ・マッチングの推進及び支援
- ・代替農地確保に必要な支援、整備

簡易な基盤整備による代替農地確保 (着工前後)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、農村振興局に関連する14項目について推進

**明るく・楽しく・前向きな
農村振興局に向けて****凡事徹底**

・なんでもない当たり前のことを徹底的に行う

・何事も基本・基礎が大事

気軽に報連相

・1人で抱え込まない

・困り事はチーム(組織)で対応

農村振興局職員としての自覚と誇りを持って輝く

・農村振興局への愛着を持ち、より一層の連携強化を図る

・常に県職員であることの自覚を持つ

ワークライフバランスの充実

・健康第一

・プライベートも大事に(しっかり休む)



農村振興局より提供いただきましたのでお知らせいたします。

農村振興局所管事業のPRや、各種意見交換の場など幅広くご活用ください。

熊本県農林水産部農村振興局のYouTubeチャンネル「くまもとNNチャンネル」もぜひご覧ください！

リンク：<https://www.youtube.com/@kumamotoNN>

地域計画のアンケートのお知らせ

農林水産省からの情報

農林水産省では、令和7年3月末までに市町村で策定された地域計画の取組について、地域の皆様からのご意見などを伺うため、**アンケート調査**を行っております。

農業政策の推進や検討に活用するためにも、ご協力のほどをどうぞよろしくお願いします。

対象者

地域計画の策定に関わった地域の関係者

回答期限

令和7年6月13日（金）まで

詳細はこちら

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/tiikiplan.html>

地域農業を守ろう

農地を次世代に引き継ぐための地域計画に取り組みましょう！

高齢化や人口減少により農業者の減少や耕作放棄地が拡大し続けると、地域の農地が守れなくなってしまうかもしれません。これまで地域のみなさんが守り、おいしい作物を作ってきた農地を、子や孫の世代に引き継いでいくためには、今が地域の皆さんで地域農業の将来を話し合う大事な時です。この地域での取組を後押しするため、令和5年4月1日に法律（農業経営基盤強化促進法）が施行されました。

後継者がいないし
機械が壊れるまでかな。

農地を貸したいけど誰が借りてくれる？

農地を貸しているけどいつまで耕作してくれるかな？

出し手

農地がバラバラにあって移動が大変だ。

これ以上農地を引き受けきれないな。

農地を借りたいけど誰の農地で誰が相続してる？

近場で規模拡大したい！

荒れた農地から悪影響があると不安。

受け手

このままでは地域の農地を維持できない！

課題解決のために一緒に取り組みませんか。

市町村では、関係機関（農業委員会、農地バンク、JA、土地改良区など）と一体となって

地域計画の策定に取り組んでいます。ぜひご協力をお願いします。

地域計画とは

農業者や地域のみなさんの話し合いで作る、将来の農地利用の姿を明確化した地域農業の設計図です。

作成主体 市町村

対象範囲 集落単位

法令 農業経営基盤強化促進法第18条～

みなさんの地域でも話し合ってみませんか。

農林水産省

農村プロデューサー養成講座

～地域に消えない火を灯せ～

～ 令和7年度～

事前申込制
受講料無料

農林水産省からの情報



農業プロデューサーとは



地域への愛着と共感を持ち、地域住民の思いを汲み取りながら、地域の将来像やそこで暮らす人々の希望の実現に向けてサポートする人材のことです。

農林水産省では令和3年度から「農村プロデューサー養成講座」に取り組んでおり、座学や演習実践活動を通して研修生の現場力アップを重視した構成となっています。

各地方公共団体の職員をはじめ、地域づくりに携わる多くの方々に広くご参加いただきたいと考えておりますので、奮ってご参加いただきますようご案内いたします。

講座案内

入門コース

地域づくりに関する学識経験者や実践者自身の研究や活動についての講演

目的：農山漁村地域における創意工夫にあふれる地域づくりのプロセスの習得

時期：7月から8月上旬にかけて全6回

参加条件：どなたでも参加可能

参加方法：オンライン配信（ライブ）

実践コース

対面での模擬演習や、研修生の実践活動を題材としたゼミを行うなど、現場力を身に付けるための実践的な研修

目的：実戦で生かせる現場力を身に着ける

時期：開催日程調整中

参加条件：地方自治体職員及び地域づくりに意欲のある方

参加方法：オンラインと対面を併用

年間スケジュール



詳細はこちら：<https://www.maff.go.jp/j/nousin/course/>

リンク一覧



- 水土里ネット熊本平野南部
<https://kumamotoheiya.com/>
- 水土里ネット熊本市西南ホームページ
<http://midorinet-km.jp/>
- 水土里ネット小川フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/小川町土地改良区水土里ネット-おがわ-979064688835896/>
- 水土里ネット美里ホームページ
<http://misato-midori.net/>
- 水土里ネット玉名平野ホームページ
<http://www.tamana-heiya.jp/>
- 水土里ネットおおきくホームページ
<http://ookiku.jp/>

県内水土里ネットホームページ、ブログ、フェイスブック一覧や最新のブログ等の更新状況をご紹介します。



- 水土里ネット一の宮ホームページ
<http://www.aso.ne.jp/~itidokai/top.html>
- 水土里ネット阿蘇ホームページ
<http://www.aso.ne.jp/~aso-toti/>
- 水土里ネット八代平野北部ホームページ
<http://yatsushiro-heiya.jp/>
- 水土里ネット百太郎溝フェイスブックページ
水土里ネット百太郎溝（百太郎溝土地改良区） | Yamae-mura Kuma-gun Kumamoto | Facebook
- 水土里ネット幸野溝ホームページ
<http://www.kounomizo.jp/>



その他

「みどり通信」で紹介してほしい
イベントやホームページ、ブログ
などがあれば、ぜひ本会まで気軽
にご連絡ください。
配信先のメールアドレス変更等
は、下記まで宜しくお願いします。

水土里名町熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)
総務企画課 企画広報係
豊住 菜奈 (とよずみ まな)

Tel : 096-348-8801

Fax : 096-348-8011

Mail : toyozumi-ma@higosanae.or.jp

HP : <https://www.higosanae.or.jp>

HPの2次元コードはこちら



Snap Shot

